

平成24年度釜石市立釜石中学校 釜石市授業交流会 美術 指導案

<p><b>【自己課題】</b> ①基礎的な技能の定着。 ②鑑賞能力の育成。</p>			
1. 実施日	11月9日(金)	2. 授業者・学級	朝倉 学 2年4組 男16名、女14名、計30名
3. 教科名	美術	4. 題材名	岩手の作家から学ぶ (B 鑑賞)
5. 題材(本時)の目標	造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わう。		
6. 題材の評価規準	<p><b>【美術への関心・意欲・態度】</b> 彫刻作品の形やテクスチャ、色などの特徴や印象、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫に関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。</p> <p><b>【鑑賞の能力】</b> 彫刻作品の形やテクスチャ、色などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。</p>		
7. 題材の指導計画	1 郷土の作家から学ぶ 1時間(本時)		
8. 本時と【自己課題】との関わり	<p>① 共通事項の内容を基に作品鑑賞の視点を設定することで、生徒が主体的に鑑賞し見方を深めていけるようにする。</p> <p>② 感じたことをお互いに交流したり、教師の発問を基に話し合ったりすることや、作者の思いなどを理解することを通して、美意識を高め幅広く味わうことに繋げていく。</p>		

美術科学習指導案

日時 平成24年11月9日(金)4校時

学級 2年4組(男16名、女14名)

授業者 朝倉 学

- 1 単元名(教材名) 岩手の作家から学ぶ「舟越保武」
- 2 本時の目標 郷土の作家の作品に興味と関心を持ち、そのよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取るとともに、お互いの多様な感じ方を認め合うことができる。
- 3 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	○指導上の留意点 ◆評価の観点と方法
導入  5分	1. 題材の学習内容の確認  2. 提示作品の確認  3. 学習課題の設定	・地域の公園にある彫刻が岩手出身の舟越保武の作品であることを知り、関心を持つ。  ・舟越保武の他の作品を知り、同じ作者だが作品の傾向(印象)が違うことに着目し、課題意識をもつ。	○舟越保武の出身地や活躍した年代などの説明をする。  ○表現の傾向の異なる4つの作品を提示する。「聖クララ」「長崎26殉教者記念像」「原の城」「ゴルゴダ」) ○頭像については出来るだけ実物大の写真を準備する。
展開	形やテクスチャ、色、表情の特徴や印象を基に、作品が語りかけてくるメッセージをとらえよう。		
35分	4. 鑑賞①  5. 感想の交流  6. 作家の生涯の解説  7. 鑑賞②	・鑑賞の視点を基に、作品を見て感じたことをプリントに記入しながら、4つの作品を鑑賞する。  ・グループで作品ごとに思ったこと・感じたことを交流するとともに、全体で話し合い見方を深める。  ・作家の生涯で2つの大きな出来事があったことを知り、それが作品に大きく影響していることを知る。(長男の死。晩年の脳梗塞。)  ・その出来事を知った上で、再度4つの作品を鑑賞し、新たに感じたことをプリントに付け加えて記入する。 ・全体で感想を交流する。	○他者の見方からなるほどと感じたことをメモするよう指示する。  ・作家の生涯を年表で順をおって説明する。 ・「ゴルゴダ」の制作風景をVTRで紹介する。(約5分)  ○付け加えは4作品全てではなくてもよいことを確認する。  <b>【鑑賞の能力】</b> ◆彫刻作品の形やテクスチャ、色などの特徴や印象などから全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。(プリント)
まとめ  10分	8. 「ゴルゴダⅡ」に対する息子の思い  9. 学習の振り返りと自己評価	・息子「桂」の「ゴルゴダⅡ」への思いを知る。  ・本時の感想を記入し、自己評価を行う。	○VTRで紹介する。(約4分)  <b>【美術への関心・意欲・態度】</b> ◆彫刻作品の形やテクスチャ、色などの特徴や印象、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫に関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。(プリント)